

菜種梅雨なのか、全国的に雨が多い様です。春雨、というには寒く感じます。でも、この辺りでもウグイスの声が良く聞かれる様になりました。

さて、ニュースレターは前号で私の執筆分は最後のつもりでしたが、研修修了式とその打ち上げ会が開かれたので、ネタがあれば書いておこう、とあとがきレターにすることにしました。

おそらく前にも書いたと思いますが、当院の研修の終了認定は外部委員も含めた研修管理委員会で認定されます。PG-EPOCは導入していますが、主には内部規程で定めた評価表を用いて研修修了の判定をしています。

経験すべき症候、症状や疾患に関しては、そのPG-EPOCを用いて（CC-EPOCは多くの学生さんが使っているのでしょうか？）登録をしていますが、情報が暗号化されていて、参照する事が難しいので、少し問題はありますが性善説に基づいてそのまま承認しています。

今年度の研修修了式は残念なことに一人が風邪で欠席でしたが、お揃いのスクラブを着て9名の先生に修了証が手渡されました。それぞれの先生が、これは面白い、と思った自分の進路に無事に進むことができたのは本当に良かったと思います。2年間で身に付けたもの、足りないところ、それを良く分かっているならば迷う事も少ないと思います。

この数年はCOVID-19で開催ができなかった打ち上げも、料理の質をグレードアップして行いました。

私は当直で救急車の対応があり一口も食べられなかったのはちょっと悔しく思います。

手前みそではありますが、当院の研修は他の病院に引けを取るものではありません。血液内科を目指している人にはお勧めはできませんが、なんとなく目標の決まっている人も、全く白紙の人も自身の進路を見つけられる病院だと思っています。これからも、いろいろな先生に来てもらえると嬉しく思います。



お花を頂きました。研修医の先生方、お心遣いありがとうございます。